

(福) 京都府母子寡婦福祉連合会



道しるべ

「この道の向こうには、夢がある」

令和3・8
No.60



- あいさつ・新役員紹介 P. 2
- 結成 70 周年記念表彰者の紹介 P. 3 ~ 4
- 支会からこんにちは P. 5
- 子どもの居場所づくり事業 P. 6
- 自立支援センターだより・知っとコーナー P. 7
- いきいきふれあい事業・おしらせ・あとがき P. 8

会長あいさつ 「未来に向かって」^{あした}



社会福祉法人 京都府母子寡婦福祉連合会 会長 佐竹 幸子

年度初めから新型コロナウイルス感染症がまん延、緊急事態宣言の幕開けとなりました。誰もが経験したことのないコロナウイルスという暗いトンネルの途中ですが、京都マナーを守り、一日でも早く以前の生活に戻れることを願っています。地域の行事もまだまだ制限はありますが、できることから少しずつ活動してまいりましょう。

さて、ひとり親をとりまく環境は以前にも増して厳しい状況で、雇い止めや労働時間の急減による収入の減少な

ど、非正規雇用で働く母子寡婦世帯の生活は困窮しています。自立に向けて北部・南部のひとり親家庭自立支援センターの巡回相談や講習会・イベントなどを利用しましょう。また、高等職業訓練促進給付金制度を利用して正規雇用を目指しましょう。

喫緊の課題は、会員数の減少です。母子連として何ができるのか？地域の母子会では何ができるのか？各支会毎に知恵を出し、良い活動は実践して広げてください。京都府母子連として持続可能な組織づくりを、母子と寡婦が力を合わせて考えてまいりましょう。

最後になりましたが、西脇知事様をはじめ、関係機関の皆様には一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

就任ごあいさつ 「ひとり親家庭への支援の充実をめざして」



京都府健康福祉部家庭支援課参事 能勢 文音

本年4月に、京都府家庭支援課参事を拝命しまして早4ヶ月が過ぎようとしています。京都府母子寡婦福祉連合会の皆様方におかれましては、平素より京都府の母子福祉施策の推進に御尽力いただきまして誠にありがとうございます。

また、長引くコロナ禍で、どの事業においても例年どおりの実施は難しい状況にある中、ひとり親家庭自立支援センターでのWEB相談の実施や「いきいきふれあい事業」、「新入学児童等のつどい」などにおいても、様々な工夫をいただき事業を実施いただいたところであり、改めて感謝申し上げます。

さて、平成28年度に実施した「京都府母子・父子世帯

実態調査」によると、5人に1人が子どもだけで食事をする孤食の状態となっており、母子家庭の就労収入においては、半数以上で200万円未満となるなど依然として厳しい状況が見受けられるところです。

このような中、京都府では令和2年3月に「第2次 子どもの貧困対策推進計画」を策定し、すべての子どもが生まれ育つ環境に左右されることなく、その将来に夢や希望を持って成長していくことのできる社会の実現に向け、教育や生活の支援、経済的支援等の施策を、教育・福祉・労働等の各機関が連携して取組を進めております。

私と致しましても、現場の声を聞きながら、ひとり親家庭支援施策の充実・推進に、微力ながら精一杯取り組んでまいりますので、皆様方の引き続きの御支援・御協力をよろしくお願い申し上げます。

新役員紹介

～令和3年6月 連合会の役員が改選されました～

京都府母子寡婦福祉連合会 評議員

- 中瀬 悅 (前京都府社会福祉審議会児童福祉専門分科会委員長)
- 中井 敏 宏 (京都府社会福祉協議会常務理事)
- 藤木 泰 嘉 (京都新聞社会福祉事業団常務理事)
- 久保 恭 子 (京都府民生児童委員協議会副会長)
- 東 美佐子 (前京都府母子寡婦福祉連合会会長)
- 平 清 美 (前京都府母子寡婦福祉連合会母子部長)
- 磯貝 英 雄 (元京都府ひとり親家庭自立支援センター副センター長)
- 水島 幸 子 (元京都府健康福祉部家庭支援課長)

京都府母子寡婦福祉連合会 役員

- 理事(会長)** 佐竹 幸子 (長岡京市 支会長)
- (副会長) 梅田 豊子 (京丹後市 支会長)
- (副会長) 田中 稔子 (宇治市 支会長)

大西 史万子 (相楽 支会長)

谷山 和子 (京丹波町 支会長)

常塚 朋子 (舞鶴市 支会長)

常務理事

白數 宗雄 (京都府母子寡婦福祉連合会事務局長)

監事

小塙 康次 (元京都府母子寡婦福祉連合会理事・事務局長)

小川 修平 (小川会計事務所代表 税理士)

母子部役員

母子部長 蟹 朋子 (宇治市 支会 母子連絡員)

副部長(北部) 森本 真理子 (舞鶴市 支会 母子連絡員)

(南部) 城戸 恵巳子 (久御山町 支会 母子連絡員)

(中部) 由良 明里 (綾部市 支会 母子連絡員)

受賞おめでとうございます

旭日双光章

旭日双光章を受章して

宮津市母子寡婦福祉会 東 美佐子



皆様にはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、私事ではありますが、令和3年の春の叙勲に際し、旭日双光章を受章いたし、大変光栄に思っております。ただ、コロナ禍で授与式が東京も京都でも中止となり、残念でなりません。

思えば、宮津市母子寡婦福祉会の会長を受けた時44才でした。その頃の役員がほとんど退会し、残った3人で何とか会をつぶすわけにはいかないと思い、手探りでの出発でした。事務処理も市役所任せになっていたため会員数もわからず、会費もなく、会の存在が見えてきませんでした。

まず、会費を集め人數の把握、運営事務、会計、小口貸付の滞納のこげつき等帳面の整理に3年を要し、その後は規約に沿って役員も新たにお願いをして、皆で頑張ってきました。

そして20数年京都府母子連の一員として京都へ通わせていただき、何もできない技術職人の私が府連合会の会長までさせていただいたことは、皆様の御支援と御指導のお陰だと思っております。平成20年の全国大会は京都府が当番県となり、今井元会長の下でいかに成功させるか皆で話し合い、全国各地から来て下さる方々にどうすれば喜んでいただけるか、研修会・交流会と知恵を絞りました。「京都といえば舞妓さん」のイメージが湧き、言い出しちゃべになつたと記憶しております。そして都ホテルでの交流会には、舞妓さんや芸妓にたくさん来ていただき、参加者の皆様が「さすが京都や」と何年過ぎても京都府の全国大会の良さを口にしてくれます。

私は決して裕福ではありません。自営業の夫が35才で病に倒れ、多額の病院の費用に四苦八苦をし、入院して3ヶ月頃には夫と共に家族どん底へ落ちる覚悟もしました。その頃が私にとって一番苦しい時でした。夫の死後、子ども2人を育てるため、夫の仕事を継承し、働きづめに働き、必死でした。子どもたちが自立した後は、私の老後に向け、「ぜいたくはせず、コツコツと」をモットーに今につながっております。

私の人生はどうでしたかと尋ねられたら、素晴らしい希望に満ちた人生であったと答えるでしょう。それだけ私は充実した人生を母子会活動も含め送ってきたと思っています。

後になりましたが、皆様のこれから活躍をお祈り申し上げます。



知事表彰

受賞したことを感じる意味

綴喜連合母子会 梁間 八千代



京都府母子寡婦福祉連合会が産声を上げ70周年、意義ある年に、知事表彰の拝命を賜り、身に余る光栄に存じます。70年前の私は、生まれ育った都会の片隅でランドセルを背負っていた頃でした。その時代から、歴代の諸先輩方々の御尽力の賜物が代々脈打つて、現在に至っていることに敬意を表します。未熟な私ですが、京都府内の母子会発祥の地に移り住み受賞させていただくことには何か意味が、又は使命（私の好きな言葉の一つ）があるのではと、感謝の気持でいっぱいです。

化学の力・医学の力が進んでいる現代社会に降って湧いた新型コロナウイルス。うつさない・うつらないを合言葉に、密を避け行う諸行事の難しさを痛感している現況です。拙い私ですが、今後まだ使命があれば、微力ながら、会の皆様のお役に立てれば嬉しく思います。

一日も早く、マスクを外せて、安穏で平和な生活に戻れますことを、日々祈っています。

※70年前（昭和24年）に全国未亡人会が発足、同じ年に「綴喜郡一路会」が京都府内初の未亡人会として結成されました。

その翌年（昭和25年）に京都府未亡人会が結成され、会の名称を変更しつつ、社会福祉法人の設立認可を受け、現在の京都府母子寡婦福祉連合会へつながっています。

会長感謝状（永年在職者）

70周年記念 受賞に際して

久御山町母子寡婦（さつき）会 中井 知子

今回、永年在職者として会長感謝状を受賞し身に余る光栄なことと喜んでおります。

しかし先人先輩の方々が歩んでこられた礎の上に成り立っているところで、私が久御山町母子寡婦（さつき）会を代表して、有難く頂戴いたしました。

振り返りますと、母子会事業のみならず「きょうと子どもの城づくり 京都府ひとり親家庭の子どもの居場所づくり事業」子ども食堂を運営するにあたり、京都府母子寡婦福祉連合会をはじめ、久御山町地域協力者様、また賛同していただいている企業様や個人事業者様のお陰だと、心より感謝申し上げます。

地域的からか、心身共に疲弊している母子、また外国籍の母子、或いは親子共精神を患った母子、また現実を受け入れるのに時間がかかる母子等々。いかなる時も弱い立場にある母子寡婦に寄り添い、痛みが分かり合える人間関係を構築できるよう努力していきたいと思います。

ありがとうございました。



会長感謝状（特別功労者）

母子会への思い

宇治市連合母子会 濱田 幸子

この度は、会長感謝状（特別功労者）をいただき、本当にありがとうございました。

私本人が楽しいこと、やってみたいことをやってきただけなのに、立派な賞を頂き、恐縮しております。

私は、長年母子会を支えてこられた寡婦の方々に、母子会売店の運営方法、本部活動の基本、気の配り方を教えていただき、今の私があります。それをお手本にしながら、今の時代に合わせたニーズを元に、母の思い、子の思いを考え、母子会でできることを実現していきたいと思っております。

私には幸運なことに、同じ思いや方向性を持った行動力のある仲間たちがあり、協力して、一緒に運営をしていくことができます。本当にありがとうございます。

頂いた感謝状は、このメンバー全員に頂いたものだと思っております。

これからも会員の方々と笑い、気持ちを共感できる会にしていきたいと思っております。

これからも御指導、御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



みんなでつながってこそ

木津川市母子会 川村 和世

母子会の活動に参加して10年、母子連絡員として6年余り、たくさんの方々に出会うことができ、親子共々支えられ、ここまで続けてこられた力となっています。感謝しています。

母子会を知って、様々な活動に参加させていただきました。我が子は受験前に、子どもの居場所で各教科の得意分野の講師さんに熱心に教えていただき、念願の希望校に入ることができ、それぞれ自分の道を進んでいます。

母子連絡員になって、メンバーで意見を出し合い協力しながら、同じ気持ちで目的に向かう姿勢の大切さを教わりました。皆さんの悩みは同じで、会員減少での会員確保問題、参加しやすい内容の工夫、情報発信手段等に努力されています。子どもの居場所づくりでは、寡婦さんが主に動かれ、負担をかけている状態が現状で、忙しく働いているお母さんにはありがたいです。

私自身も子育ての後半に近づき、寡婦さんがよくお話ししていた寡婦控除や医療費の問題が少しずつ身近な問題になってきています。子育て後の生活に不安を抱えなくてもいい制度の実現を願いながら頑張っていきたいと思っています。



会長感謝状（居場所づくり功労者）

大学生支援員として居場所事業に参加して 向日市 川崎 理恵

私は毎週水曜日、向日市で子どもの居場所づくりの活動に参加させていただきました。

子どもの居場所づくりってどんな雰囲気かなと思っていらっしゃる方も多いのではないかでしょうか？

向日市では、幼児さんから中学生まで、幅広い年齢の子供たちとその保護者が一緒にご飯を食べたり、遊んだり、とても明るくアットホームな雰囲気です。

私はその中で、学校や趣味の事など、特に子供たちと関わる時間をたくさん持ち、一緒に多くの笑顔の時間を作りました。

一方で、時には学校や子育ての悩みを聞く事もありました。嬉しいこともつらいことも共有できる場があることは本当に大切なことだと実感しました。

そしてここをはじめとして子どもの居場所づくりの場が、一つの大切な「子供たちと保護者の居場所」になっていることに気づく事ができました。

みなさんは是非お近くの子どもの居場所や子ども食堂に参加してみてほしいと思います。

最後になりましたが、この度は京都府母子寡婦福祉連合会結成70周年記念という記念すべき年に、このような賞を頂き大変感謝しております。

益々の会の御盛況をお祈り申し上げます。



参加しやすく「TMW」へ

京丹波町母子寡婦福祉社会 塩貝 雅美

この度は会長表彰をいただき、誠にありがとうございます。居場所を始めて数年しか経っていない若輩者の私たちですが、このような賞をいただくことは大変恐縮ではございますが、今後もできる限り尽力していかなければと思っております。



京丹波町母子寡婦福祉会では、気軽に来ていただけるようにと旧3町の頭文字を取って「TMW」と名称し、平成28年度より京丹波町福祉支援課の御協力の下、活動してまいりました。

平成29年度より、社会福祉協議会も御協力いただけることとなり、加えてスタッフの皆様の御協力のお陰でここまで続けてこられたと、大変感謝しています。

昨年度からは感染症拡大防止の観点もあって学習支援を主に開催しています。ひとり親家庭は多くおられます、会員は減る一方で、参加者も会員外の数名のみですが、元教員の先生方が熱心に指導にあたってくださっています。

今年度、京丹波町福祉支援課に働きかけていただき、教育委員会・各学校長の御理解の下、対象者に案内を配付していただけたこととなりました。少しでも必要な御家庭の力になれれば幸いです。

工夫の中でのクリスマス会 京丹後市母子寡婦福祉会 梅田 豊子

昨年度は、新型コロナ感染予防の為に、計画した事業はことごとく実施できず、思い悩むばかりでした。

毎年70名前後の母子寡婦交流会「クリスマス会」を実施していましたが、70名の会員が一堂に会することは密になり実施は無理なのか、何とかできる方法はないものかと模索している中、幸いにも京丹後市から補助金を支給していただき事業をしていますので京丹後市生活福祉課の担当に相談に行きました。

事情を説明し、令和2年度新型コロナウイルス特例措置として6支部に事業助成金一人1,000円×会員数を支給しクリスマス会が実施できるように了解を得ました。3支部がクリスマス会を実施しましたが、寡婦会員さんの多い支部は感染予防のために実施しませんでした。

少人数のクリスマス会で、久しぶりにお会いした会員さんの声や笑顔がとても心を癒してくれました。

元気そうで良かった、ひとりで大丈夫だった、会えて良かった、コロナの事が心配だったけれど思い切って参加して良かったと参加者の声でした。会って話すことが心を通わせる最も大切な事を学びました。

令和3年度もコロナウイルス特例措置を活用し各支部で集えるクリスマス会を実施します。変異ウイルスの拡散でまだまだ自粛の日々ですがワクチン接種の効果が早くで、計画した事業が普通にできる日を待ち望んでいます。



学びは部屋を飛び出して

城陽市母子寡婦福祉連合会 小木曾 扶美代

城陽市母子寡婦福祉連合会では、子どもの居場所づくりに取り組んでいます。今年は、梅雨の中休みに、母子17名が居場所づくり事業の一環として、城陽市社会福祉協議会からバスを出していただき、市内の農家さんのお世話になって、農園の見学をさせていただきました。なすび、きゅうり、トマト、大根、山芋、ズッキーニが植わっている畑の説明を聞き、農家の方から、お野菜、ひまわりのお花をいただきました。

ズッキーニの植えられている姿を初めて見て、感動しました。ズッキーニは、ウリ科カボチャ属の一年生の果菜だそうです。お母さんたちは、イチジクの木を初めて見たとのことで、城陽の特産物がイチジクと聞き、びっくりされました。

子どもたちが机の上での学習を越えて、農業に直にふれ、スーパーでしか見たことのない野菜の栽培されている様子を見ることができたのはとても良い体験になりました。若い世代が未来に向けて行動できる人となることを、これからも支援していきたいと思います。

子育てを、仕事を持しながら頑張っているお母さん方も、お互いに交流しながら、リラックスしたひとときを過ごしていただきたいと願っています。

京都府母子寡婦福祉連合会には、
18の支会があります。
各地域の支会の活動を御紹介します。

寄せ植えを恒例行事に

南丹市母子寡婦福祉会 西村 昌子

南丹市は、東西南北と広範囲な地域にあり公共の交通手段も少なく、マイクロバスを借り切って会員のみなさんが行事に参加していただきやすいように工夫をしています。

寄せ植え講習会では、「お久しぶりです、お元気そうで良かった。」と、お互いの近況を交わしながら、色とりどりの花苗をアレンジして寄せ植えを楽しんでいらっしゃいます。今では恒例行事になるほど、みなさんとても楽しみにしてくださっています。

また、今年は、母子と寡婦が一緒に交流できるよう役員みんなでアイデアを出し合いながらクリスマス会の計画を練っているところです。

そして、数年前の話になりますが、中部母子交流会で「酪農教育ファーム見学」を行いました。

酪農家さん手作りのパネルを見ながら酪農の仕事や牛のお世話など酪農家さんから直接聞くお話は、命と食の大切さを学ぶ有意義な交流会となり今でも心に残っています。

このように地域ならではの取り組みを通して交流を深め、会員みなさんの生活の一助になればと思います。



ズッキーニ

子どもの居場所づくり事業

令和3年度 子どもの居場所づくり事業

夏休み等短期型（夏・冬・春の長期休暇期間で15日以上）

事業名	実施場所	実施日
八幡市子どもの居場所づくり事業	八幡市社会福祉会館	夏休み、冬休み等の日曜日等
京丹波町子どもの居場所づくり事業「TMW」	中央公民館 瑞穂ほほえみ 他	夏休み、冬休み等の土曜日等
福知山市子どもの居場所づくり事業	福知山市総合福祉会館	夏休み、冬休み等の土曜日、日曜日等
宮津市子どもの居場所づくり事業	宮津シーサイドマートミップル クッキンブルーム	夏休み、冬休み等の日曜日等

休日等通年型（年間50日以上）

事業名	実施場所	実施日
向日市子どもの居場所づくり事業	まこと幼稚園児教育センター 永坪会館	毎週水曜日
大山崎町子どもの居場所づくり事業	大山崎町中央公民館 円明寺が丘自治会館	毎週水曜日、日曜日
宇治市子どもの居場所づくり事業（宇治南部）	宇治市総合福祉会館他	毎週金曜日 (土曜日)
城陽市子どもの居場所づくり事業	城陽福祉センター他	毎週日曜日 夏休み中等は平日も予定
舞鶴市子どもの居場所づくり事業（西舞鶴）	西公民館	毎週火曜日・土曜日

居場所づくり事業は、事業開始から9年目。
新型コロナは心配だけど、感染防止に心がけ、
みんなの来るのを待っています。

生活充実通年型（年間100日以上）

事業名	実施場所	実施日
長岡京市子どもの居場所づくり事業	長岡京市梅が丘 長岡京市久貝 (みんなのお家)	毎月第4金曜日 毎週火曜日
パンプーガーデン アイリスガーデン	長岡京市東和苑 (つなぐさん家)	毎週土曜日
宇治市子どもの居場所づくり事業（宇治北部）	宇治市五ヶ庄三番割集会所 (おうばく塾) 宇治市総合福祉会館	毎週水曜日 (土曜日) 毎週金曜日 (土曜日)
久御山町SKIP	久御山町佐古屋敷167-1 ほっとハウス「チエさん」	【子ども食堂】 毎週水曜日・金曜日 【こどもカフワ】 毎週水曜日
木津川市子どもの居場所づくり事業	木津川市木津町南垣外17-1	毎週火曜日、土曜日
舞鶴市子どもの居場所づくり事業（東舞鶴）	南公民館	毎週金曜日・日曜日

新型コロナウイルスの感染防止の状況によって、実施日時等が変更となる場合があります。

参加のおともだちから

私にとっての居場所

大山崎町三つ和母子会 小学4年生 西脇 愛莉

私は最初、公民館に初めて行った時、知っている友達が少なかったので、すごくドキドキしました。2回目の時は、まだきんちょうしたけど、だんだん同じ小学生の人や中学校のお姉さんとしゃべれてうれしかったです。なにより一番楽しみな事はみんなでご飯を食べる時間です。苦手な野菜も食べられて家で食べるご飯がおいしく感じます。そして勉強をする時間は、算数が苦手なので今習っている所を教えてくれます。どうしきらべてその答えになるのか教えてくれるから学校より分かってきました。発表はきんちょうしたけど、今はあんまりきんしません。苦手な勉強を教えてくれ、友達と遊び、おいしいご飯も食べられるから私にとって居場所はとても大切な時間です。



for you

コロナに負けず 居場所に励む

舞鶴市母子福祉会 常塚 朋子

私たち舞鶴市母子福祉会では、コロナ禍でも休まず、居場所を続けています。9年間してきた中で、初めはお母さんと来られて、お母さんが帰ろうとすると「帰つたらダメ」と言っていた子が、少し慣れて、「帰つていいよ」と少し成長していく、そんな姿を見てきました。

なかなか椅子にじっと座って勉強するのも大変です。一人、部屋から外へ出していく子どももいます。後をついて行き見守り、叱ることはせず、「みんなのところへ帰つて勉強しよう」と言ってなだめます。「また次の居場所が待ち遠しいくらい楽しいから行く」と自分から言えるまではなかなかですが、来てしまえば、みんなと楽しそうに、多くの友だちと勉強をしています。

無理して「毎日行きなさい！」とお母さんが押し付けるのではなく、「今日はどうする？行く？行かない？」と聞いてあげることが大切です。自分から「行く」と言うまで見守つてあげていただきたいです。

私たちも参加しやすい居場所になりますよう、スタッフ一同頑張っていきたいと思っています。

またお友だちを連れて
来てね。
待ってます。



センターだより・知っとコーナー

自立支援センターだより

一北部センターの相談コーナーが移動しました

4月1日から、市民交流プラザふくちやま4階にある
京都府ジョブパーク内の同一フロアで相談コーナーが
移動をしました。

従来のコーナーより、少し広くなり
落ち着いた雰囲気になりました。

JR福知山駅下車徒歩1分です、お気軽にお越しください。

TEL 0773-23-2771

月曜日～金曜日 9:00～17:00

(土曜・日曜・祝日・12/29～1/3を除く)



知っとコーナー



学びたい気持ちを応援 奨学金など

対象年など	制度の名称	注意点など
中学校3年、 高等学校、 高等専門学校	夢を応援基金 「ひとり親家庭支援奨学金制度」	毎年2月下旬～4月頃に募集 当会事務局にお問合せください。
	高等学校等就学支援金	入学時の4月頃に学校から案内
高等学校、 高等専門学校等	高校生等奨学給付金	生活保護世帯、年収約270万円未満の世帯が対象。毎年7月頃に手続きが必要です。学校または京都府教育庁指導部高校教育課（国公立）、京都府文教課（私立）へお問合せください。
	高等教育の修学支援新制度 ※学校が制度の対象になっているか、ご確認ください。	文部科学省または（独）日本学生支援機構のホームページをご確認ください。
大学、 短期大学、 高等専門学校 (4年・5年)、 専門学校		



所得税のひとり親控除が 令和2年度税制改正から変わりました

改正前後の控除に係る適用判定のフロー図



京都府あんしん修学支援制度

京都府内の私立高校に通う生徒が安心して
勉学に打ち込めるよう、支援制度があります。

- 保護者が京都府在住で、府内の私立高校（認可校）に通う方が対象
- 返済は不要
- 学校に毎年申請が必要

支援金額の内訳



A 京都府あんしん修学支援（授業料減免）

年収590万円
未満の世帯 → 年間最大 65万円支援
(生保世帯は93万6,000円)

B 京都府あんしん修学支援（学費軽減）

年収590～910万円
未満の世帯 → 年間最大 19万8,800円支援



いきいきふれあい事業（令和2年度の取組みから）

新型コロナ感染症予防のため、新しい事業の形で取り組まれた母子会を御紹介します。

世界にひとつだけのお皿☆何度でも親子おうち時間♪

綾部市母子寡婦福祉会 由良 明里

コロナ禍の2020年…綾部支会は【今だからこそできる事と、できる方法で！】をテーマに事業案を練り、新たな取り組みとして、地元＆短時間＆少人数＆分散型で開催可能な【ポーセラーツ体験】を企画しました。

ポーセラーツは、真っ白な陶器に自分の好きな色や絵柄の転写紙を貼り付け焼成する事で、誰でも簡単に♪世界でたったひとつのお皿が作れちゃう♪Art体験です。性別や年齢を問わず楽しめる所も魅力！父子会さん親子や例年は少ない中高生の参加も多く、親子でお揃いのデザインにするなど、製作をしながら絆を深める事ができました。完成したお気に入りのお皿は、飾っても♪使っても♪【親子おうち時間】を楽しむ事ができます。

人生は時に思いもよらぬ困難が…そんな中でも日々を楽しみ♪笑顔でキラリ☆生き抜いていく力を養って欲しいと母達は願っています。その力を育むキッカケとなるような☆いきいきふれあい事業☆を今後も実現したいです！



♪親子でワクワク～藍と愛で染めよう♪Tシャツ編

亀岡市母子寡婦福祉会 廣瀬 和美

毎年恒例のバスで行くことを断念！自粛生活・生活様式の変化で支援が必要だと、メディア等で取り上げられている時期でした。

会員の方に近況をうかがったところ、医療関係での就業がとても多く、親子ともに生活に規制をかけているとのこと。3密を避け、感染症対策を講じることが最低条件でした。

内容も良いものにしようと、地域の新聞を読みあさっていたところ、地元で藍染の商品を製造・販売されている工房（会社）を見つきました。

今だから、大人から子どもたちに、「頑張れ～！乗り越えろ～！」とメッセージを送れないか、そして、地元を知る機会につなげられないかと思い立ち、社長さんに藍染体験ができないかとお願いしましたところ、「Tシャツ藍染体験！地域貢献！藍で愛したる～！」と社長全面協力により、実施できました。

今回の募集は、亀岡市のLINE・Facebookを活用しましたが、地域のつながり、人のつながりの大切さを改めて感じました。

今後も広報の幅を広げ、柔軟な対応力や自立に向けて、多くの方に活動を知っていただきたいと考えています。



※コロナ感染症予防のため、令和3年度についても、行先や日程が変更になる場合があります。詳細は実施の各支会に御確認ください。

京都府母子寡婦福祉大会及び全体研修会

昨年度は、結成70周年の記念すべき大会にも関わらず、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となりました。

今年度こそは、大会を盛り上げていきたいものです。

子どもの意見発表や講演と、会場を盛り上げてくれるアトラクション！
みなさん！ぜひお出かけください。

日時 令和3年10月24日㊐ 13時～16時

場所 京都テルサ（京都市南区）

あなたも「母子会」に入りませんか？

母子会は、あなたと子どもたちが安心して暮らせる社会づくりを目指して活動しています。
あなたの近くにも母子会があります。
どうぞお気軽にお問い合わせください。
お問合せは、各地域の母子会
または京都府母子寡婦福祉連合会事務局
(電話075-223-1360)まで



第33回 KYOのあけぼのフェスティバル

今年のキーワードは SDGs

男女が社会の対等な構成員としてさまざまな活動に参画し、誰もが安心・安全でしあわせを実感できる社会の実現を目指し開催される「KYOのあけぼのフェスティバル」に、母子寡婦福祉連合会も実行委員会の一員として参加しています。

日時 令和3年11月6日㊈

場所 京都テルサ（京都市南区）

賛助会員募集中

ひとり親家庭の人々へ

それらの家庭にあって育ちゆく子どもたちへ
御理解・御支援をいただける方を
賛助会員としてお迎えするため
会員の皆様の
賛助会員募集の取組みをお願いします。



賛助会員募集の取組みをお願いします。

賛助会員1口1,000円／年

社会福祉法人 京都府母子寡婦福祉連合会

発行責任者 佐竹 幸子

〒604-0874

京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町375番地

京都府立総合社会福祉会館内

TEL 075-223-1360 FAX 075-950-1503

<https://hitorioya.kyoto/>

